

有識者会議からの提言内容について

第1回・第2回会議での意見から

①新たなホール整備について

- ◆ 県都にふさわしいホールを早急に整備すること。
- ◆ 音響に配慮した多目的ホールを整備すること。
- ◆ 市民の利便性を考慮した建設場所を早急に決定すること。
- ◆ 客席規模は、徳島市の人口や維持管理経費、稼働率なども考慮して決定すること。
- ◆ 大ホールは、利用者の多様なニーズに対応できるよう利用形態を工夫すること。
- ◆ 小ホール、リハーサル室、活動室等、日常的な創造活動ができる施設として整備すること。
- ◆ 専門的な人材を配置して自主事業等を実施することにより、人材を育成できる施設にすること。
- ◆ ホール整備におけるこれまでの基本理念及び基本方針等を継承し、整備期間の短縮に努めること。
- ◆ P F I などの民間の資金やノウハウを活用し、効率的かつ効果的な整備に努めること。
- ◆ 整備にあたっては、県市協調での取組みも検討すること。
- ◆

②ホール完成までの方策について

- ◆ 文化センターの耐震リニューアルは実施せず、新たなホールの整備を目指すこと。
- ◆ 文化団体等のニーズを把握し、他のホールの有効利用を含む支援策を検討すること。
- ◆
- ◆